

正 誤 表

験震時報, 第19巻3~4号—第20巻2号

巻 号	ページ	行	誤	正	
19	3~4	表紙目次	上から5行目	……地電位差の観測について	……地電位差の分布
"	"	79	" 4 "	$K = \frac{A}{A}$	$K = \frac{\bar{A}}{A}$
"	"	82	" 9 "	…… = $-\left\{ \beta s^2 - P_0 a \left(1 - \frac{d}{l_0} \right) \right\}$.	…… = $-\left\{ \beta s^2 - P_0 d \left(1 - \frac{d'}{l_0} \right) \right\}$
"	"	104	下から6 "	また, $S, Lr, M\&C$ も走時函数から,	また, S, Lr も走時函数から
19	2	"	" 2 "	に非席に	に非常に
"	3~4	105ページの付図			Fig. 4 中の $M\&C$ 曲線を削除
20	1	9	下から5行, 3行および2行目		各式中の $\cos \rho_m, \sin \rho_m$ を $\cos \zeta_m, \sin \zeta_m$ にする
"	"	12	上から9行および10行目	$\left(\frac{1}{2} - \frac{5}{4} e^2 \right) \cdot \cos \frac{4I}{2} \cos 2t, \left(\frac{1}{2} - \frac{5}{4} e^2 \right) \cdot \cos \frac{4I}{2} \sin 2t$	$\left(\frac{1}{2} - \frac{5}{4} e^2 \right) \cdot \cos^4 \frac{I}{2} \cos 2t, \left(\frac{1}{2} - \frac{5}{4} e^2 \right) \cdot \cos^4 \frac{I}{2} \sin 2t$
"	"	13	下から11行目	のためのじょう乱, を考えなければならぬが	のためのじょう乱も考えなければならぬが,
"	"	33	" 3 "	Seismography, Chapter 2	Seismology, Chapter 9
"	2	46	上から1行目	§ 6. 定期測温結果についての考察	§ 4. 定期測温結果についての考察
"	"	51ページの付図説明文		the 2nd pendulum is took away	the 2nd pendulum is taken away
"	"	51	下から11行目	$= l_1 \tau_1 \sin \alpha_1 (\theta_2' - \theta_1')$	$= l_1 \tau_1 \sin \alpha_1' (\theta_2' - \theta_1')$
"	"	56	上から9行目	本論文 § 3 で	本論 § 1. 2 で